



詩集・^ぐ^み葉 萸のように そまって

詩・秋川 ゆみ 絵・青木 一美 発行・らくだ出版

秋川 ゆみ (あきかわ ゆみ)

長崎市生まれ。山脇高等女学校卒業。
長崎源之助氏主宰の〈幹塾〉で童話の創作を学び、現在は、
同氏の〈枝の会〉会員。
エッセイ集『屋根のない家』(有隣堂書店刊)、『あさってから
スパゲティ』大日本図書。
〒233 横浜市港南区日野町1-4-2

青木 一美 (あおき かすみ)

1918年 長野市松代に生まれる。
1952年 以降国展出品 現在 国画会会員
1959年 以降個展(横浜、東京、仙台、札幌、長野、金沢、福岡)
1987年 横浜市より長野市に転居
1988年 北野美術館大賞受賞
〒380 長野市南石堂町1221・8グランドハイツ806号

ぐみ
子ども詩の山なみ 菜葉のようにそまって

1990年12月25日 初版 第1刷 発行

911
ぐみ
菜葉のようにそまって

らくだ出版 1990年
72P 21cm×19cm

詩	秋川ゆみ
絵	青木一美
発行者	内野 恵郎
発行所	らくだ出版株式会社 〒112 東京都文京区大塚3-3-3 達州ビル ☎03-947-6055 振替 東京3-154264
写 植	早稲田写植
製 版	有限会社 タムラ製版
印 刷	公人印刷株式会社
製 本	翔栄社

詩集 ^{ぐ み} 葉 萸のように そまって

秋川 ゆみ



らくだ出版

私の希望のハンカチが、茱萸ぐいのように染まって、あの子の病気をすっかり吸いとってしまう日が必ずくることを信じて、この本を娘に捧げます。

娘の名前は「小さな枝」と書いて「小枝」と読みます。

一九六〇年五月二十日カトリック受洗じゅだん、洗礼名マリア・グラチア。



1980

誌集 菜萌ぐみのようにそまって

目次

心からの祈りを

発病・10

病・11

ある日 突然・12

いとしいものよ・13

幸福・15

“希望”という悲しみ・16

祈る・17

悪夢・18

わが子よ・19

夜ごとの夢・20

このひととき・
21

わたし・
22

心・
23

母の白夜・
24

痛恨・
26

あした・
27

泣かないで・
28

五歳のころ・
29

ねこはちとんぼ

空・
32

ぼくはびっくりした・
33

春・
34

夏・
35

秋・
36

星・
37

好きなもの・
39

変身・
40

花・
41

足・
42

レミってどんな猫？・
43

猫・
44

ぼくの犬・
45

戦争を知らない子・
46

うずらの卵・
47

アスミちゃんへ・
49

波・
50

風・
51

鈴のなまえ・
53

川・ 54

聖なるもの・ 55

よかったね

リンゴの樹・ 58

ヨッちゃんは泣かない・ 60

よかったね・ 61

泣かない父さん・ 62

途中・ 63

どうして? なぜ?・ 65

もし……・ 66

まばたき・ 67

弟からの手紙・ 68

つらぬくもの 重清 良吉 69

あとがき・ 71



心からの祈りを

娘小枝は、一九八八年の秋、敗血症で、
高熱が一月も続いた。平熱になった直
後、昏睡をおこし更に別の病氣となる。

発^{はつ}
病^{びょう}

日の光が　いとわしい

やさしげなことばが　いとわしい

新聞のくばられる世界が　いとわしい

あらゆる山に登^{のぼ}って　さけびたい

心からの　のろいを

心からの　祈^{いの}りを

病やまい

患者かんじやっていう字は

「心をくしざしにする」って書く

空は晴れて

雲ひとつない

なんとからっぽな

なんとむごたらしい



ある日
突然^{とつぜん}

ピシッ ガラス戸がわれた
いならずま形の ひびがはしった

そつと テープをはり
そつと あけしめする

ああ

そっくり取りかえることができたなら

いいものよ

おまえの
わたしの
地平線ちへいせんです
やせた肩かたが





幸
福

枯^かれ葉^はを ふみつぶすように
ローソクを ふきけすように

打ちこわすことの
なんとわけもないことだろう